

## 令和3年度 札幌市がん対策部会（子宮がん対策）

## 議題2 「札幌市子宮がん検診未受診者対策事業及び実施にかかる検討事項」

- |                     |  |
|---------------------|--|
| 1：札幌市子宮がん検診未受診者対策事業 | 1-1：事業の目的<br>1-2：市の計画の中での位置づけ<br>1-3：がん対策部会（子宮がん対策）について<br>1-4：事業概要（案）<br>1-5：実施スケジュール（想定） |
| 2：対象者               | 2-1：対象者の選定（案）<br>2-2：他都市の先行事例<br>2-3：事業規模（想定）  |
| 3：フォローアップ           | 3-1：フォローアップ（案）   |
| 4：アンケート、評価          | 4-1：参加者へのアンケート実施<br>4-2：評価について<br>4-3：評価項目（案）  |

日時：令和3年11月12日 19：00

場所：札幌市保健所（WEST19）2階研修室A

# 1：札幌市子宮がん検診未受診者対策事業（目的、位置づけ、対策部会）

## 1-1：事業の目的

札幌市の子宮がん対策として、検診の未受診者を札幌市がん検診（細胞診）受診に結び付けることを目的とする子宮がん検診の受診率向上と、早期発見、早期治療による死亡率の減少を図る

## 1-2：市の計画の中での位置づけ

- ▶ 札幌市の総合的なまちづくり計画「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の具体的な実施事業を示した「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019」で、女性特有のがんの対策として乳がん（※）、子宮がん対策に取り組むことを明記

（※）乳がんは令和元年8月から40歳代を対象にエコー検査を併用して受診できる体制を導入した

- ▶ 「さっぽろまちづくり戦略ビジョン」の個別計画である「健康さっぽろ21（第二次）」で、子宮がんを含む各がん検診の受診率の目標を50%（※）としている（計画期間 平成26年～令和5年）

（※）厚生労働省「がん対策推進基本計画（第3次）」と同値

## 1-3：がん対策部会（子宮がん対策）について

子宮がん検診未受診者対策事業として、自宅で実施できるHPVの自己採取検査を実施する。事業を効果的に実施するため、主に以下の項目について専門医師の知見を得ながら実施方法の検討を行う

- ・効果が望める対象年齢者層
- ・検診実施に繋がるフォローアップの手法
- ・事業を評価するための適切な評価項目
- ・その他

## 札幌市の計画の体系



### 札幌市まちづくり戦略ビジョン

幅広い分野に渡って札幌市のまちづくりの指針を示した**最上位の総合計画**



### 健康さっぽろ21

戦略ビジョンで示された市民の健康づくりを担う**個別計画**



### 札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019

「札幌市まちづくり戦略ビジョン」を実現させる行財政運営の指針となる**中期実施計画**

# 1：札幌市子宮がん検診未受診者対策事業（事業概要（案））

## 1-4：事業概要（案）

札幌市子宮頸がん検診の未受診者から対象者を選定し、HPV自己採取の検査を案内する希望者に検査キットを送付して、自宅でのHPV自己採取を実施する  
陽性者には札幌市子宮がん検診（一次検診）の受診を案内する

### 1-4-1 実施形態

市の試行事業として実施する

自治体の対策型検診としての実施は行わない

対策型検診としてのHPV検査の実施（時期、実施機関等）については、今後の厚生労働省の指針に基づいて検討する

### 1-4-2 実施手順（想定）

#### (1) 対象者の選定

部会の意見を踏まえて決定した対象者層から、札幌市子宮頸がん検診の未受診者を割り出してリスト化

#### (2) 案内送付、意向確認

対象者に案内送付し、希望者を取りまとめる

#### (3) 希望者にキット送付、回収、検査、結果送付

事業者への委託を想定（入札）

#### (4) フォローアップ

- ・ 札幌市案  
陽性者：札幌市子宮頸がん検診（細胞診）の受診を勧奨  
陰性者：札幌市がん検診、職域検診等の定期的な受診を勧奨

# 1：札幌市子宮がん検診未受診者対策事業（スケジュール）

## 1-5：実施スケジュール（想定）

### 1-5-1 令和3年度

対策部会

▷札幌市がん対策部会（子宮がん対策）の開催（2回）

子宮がん検診未受診者対策事業の実施のため、専門医師の意見を受けて、対象者やフォローアップ方法等を検討、決定

保健所

▷予算の要求

想定される実施規模により、令和4年度実施に向けた予算の確保

### 1-5-2 令和3～4年度

保健所

▷実施要領等の作成

札幌市がん対策部会（子宮がん対策）での意見、提案等を踏まえ、事業の実施要領等を作成

### 1-5-3 令和4年度

保健所

▷事業者の決定

送付物の作成、発送、検査等、業務の内容に応じて事業者を決定（入札予定）

保健所

▷事業の実施

子宮がん検診未受診者対策事業の一連の作業を実施

（対象者へ案内発送→希望取りまとめ→キットの送付と回収→検査→結果報告→陽性者への一次検診受診勧奨）

対策部会

▷結果の集計、報告

保健所

自己採取検査の結果（受検者数、陽性者数等）を集計して部会委員に報告

## 2：対象者（対象者の選定（案））

### 2-1：対象者の選定（案）

※ 直近3年の間の札幌市子宮頸がん検診の受診者を除いた場合

	年齢	対象者人数（想定）	メリット	デメリット
①	21歳 (クーポン券未利用者)	約8,200人 (住民9,300人－受診者1,100人)	・早い年齢からがん検診への意識づけが行える	・長期感染者以外も検出されるため、疑陽性が増える ・学生が多いため、市外への転出等により精検結果の追跡が困難
②	25歳	約8,200人※ (住民10,500人－受診者2,300人)	・早期発見に適切と考える開始年齢	・現時点で根拠となるものがない

・子宮頸がんの罹患者は30代半ばから増大するため、罹患前（異形成の段階）からHPVの感染を確認し、定期的な検診を続けることが早期発見に繋がると考えられる

・年齢的な根拠に乏しく、対象者としての実績が未知数である

③	30歳	約7,200人※ (住民10,900人－受診者3,700人)	・ガイドラインの開始年齢と一致する	・妊娠・出産時期に重なる可能性が高く、妊産婦検診で細胞診検査を受けているケースが多い
---	-----	-----------------------------------	-------------------	--

・国立がん研究センターによるガイドライン2019で推奨グレードAとなったHPV単独法の開始年齢と一致し、明確な根拠がある

・子宮頸がん罹患者の増大前の年齢であり、早期発見に繋がると考えられる

・25歳と比べて検診への意識が高く、自発的な受診や職域検診、妊産婦健診での検診受診者が多いことから、未受診者対策の効果が減退する可能性がある

## 2：対象者（他都市事例、事業規模）

### 2-2：他都市の先行事例

- ▷ **出雲市** 対象者：26～46歳、過去5年連続未受診者

H27年度	対象者数	希望者（率）	受検者（率）	陽性者（率）	一次受診者（率）
	12,546人	2,806人（22.3%）	2,120人（75.6%）	152人（7.2%）	111人（73.0%）
				陰性者（率）	一次受診者（率）
				1,968人（92.8%）	239人（12.1%）

公益財団法人未来工学研究所アニュアルレポート2016

「I-14.子宮頸がん住民検診未受診者層への自己採取HPV検査導入の検討」より作成

- ▷ **江別市** 対象者：20～43歳、平成26年度の無料クーポン券の未利用者（7,677人）のうち、5,766人に実施（他は、無料クーポンの送付のみの群、検診再勧奨通知をおこなう群としている）

H26年度	対象者数	希望者（率）	受検者（率）	陽性者（率）	一次受診者（率）
	5,766人	570人（9.9%）	392人（68.8%）	36人（9.2%）	21人（58.3%）

「科学研究費助成事業 研究成果報告書」より作成

- ▷ **江別市** 対象者：H28～30 クーポン未利用者、21～39歳で勧奨ハガキ送付後の未受診者  
：R1 クーポン未利用者、S57、61、H1、5、7年生でH27年度以降の市の検診の未受診者

H28 ～ R1年度	対象者数	希望者（率）	受検者（率）	陽性者（率）	一次受診者（率）
	10,197人	1,098人（10.8%）	843人（76.8%）	117人（13.9%）	69人（59.0%）

令和2年10月16日実施「自己採取HPV検査研究会」江別市発表データより作成

### 2-3：事業規模（想定）

対象者数はアクションプラン2019作成時の想定による

	対象者数	希望者（率）	受検者（率）	陽性者（率）	一次受診者（率）
	8,317人	832人（10.0%）	583人（70.0%）	59人（10.1%）	30人（50.8%）

対策事業を実施することで、

「583人」の未受診者にHPV自己採取を受けてもらうことができ、  
「30人」のハイリスク者を一次検診（細胞診）に繋げることができる

一次検診が未受診なままの陽性者には、リコールによる受診勧奨を行う

## 3：フォローアップ

### 3-1：フォローアップ（案）

陽性者の札幌市がん検診への誘導、陰性者の定期受診の定着等、未受診対策として効果が得られるフォローアップを行う  
作業の段階ごとに異なる案内、アプローチを行う

検査の段階	フォローアップ方法	内 容	目 的（効 果）
第1段階 対象者への案内、意向確認	パンフレット同封	子宮がん、検診の実態や統計データ等を示す HPVの基礎知識から検査の流れを案内する	→ 検診の重要性を知ってもらうとともに、検査への心理的ハードルを下げて応募者数の増加を図る
第2段階 希望者へ検査キット送付	検査マニュアル同封	検体の採取方法、提出方法をわかりやすく伝える	→ 不適正な検体を減らす 検体提出率の向上を図る
第3段階 結果通知	陽性、陰性毎に異なる案内を同封	陽性→札幌市子宮がん検診の早期受診を案内 陰性→自治体検診、職域検診等のがん検診の定期受診を案内	→ 陽性者：一次検診から精密検査につなげ、早期発見を図る 陰性者：定期検診の意識づけを図る
第4段階 終了以降	未受診の陽性者へのリコール	一定の期間、一次検診が未受診となっている方へ再度勧奨を行う	→ 多くの陽性者に一次検診を受診してもらい、未受診者対策としての意義を高めるとともに、定期検診の定着を図る

## 4：アンケート（調査）、評価

### 4-1：参加者へのアンケート（調査）実施

事業の評価材料や、今後の事業を検討する際の判断資料とするため、事業の参加された方へのアンケート（調査）を実施する実施時期や、アンケート（調査）項目を検討する

#### 4-1-1 アンケート（調査）の概要

	送付	回収	アンケート（調査）内容	備考
①	案内時	申込受付時	<ul style="list-style-type: none"><li>・過去の子宮頸がん検診の受診歴（全くの未受診、自治体・職場で受診、個人で受診、妊婦検診で受診）</li><li>・（未受診者に対して）未受診だった理由</li><li>・自己採取HPV検査の希望の有無</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・検査希望の有無に関わらず、全員に回答を依頼</li><li>・項目が煩雑になると、検査の希望者が減少する恐れがある</li></ul>
②	キット送付時	検体提出時	<ul style="list-style-type: none"><li>・自己採取キットの使用感</li></ul>	
③	結果通知時	任意	<ul style="list-style-type: none"><li>・検査して良かったか</li><li>・今後定期検診を受診したいか</li></ul>	申し込みやキットといった他の提出物がないたため、回答率が低くなる



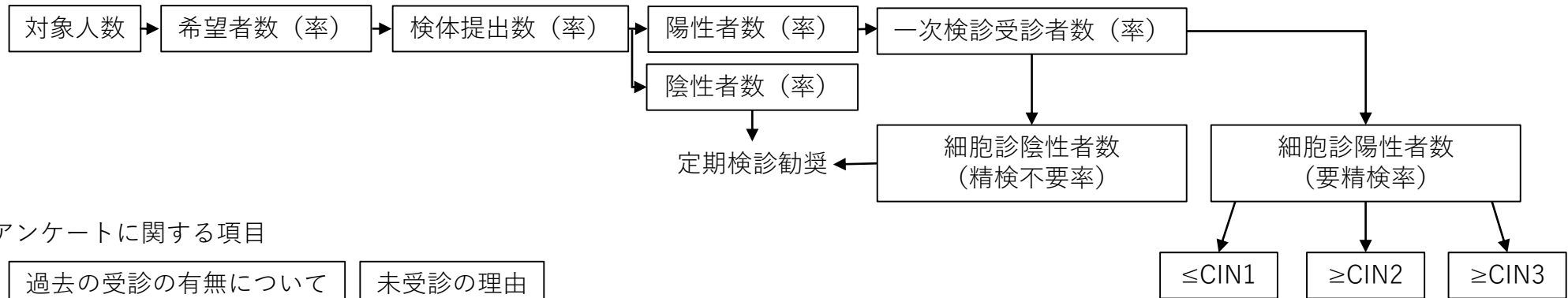
## 4：アンケート（調査）、評価

### 4-2：評価について

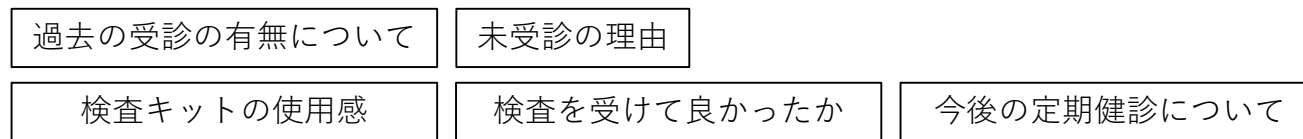
実施して得られる各種の実績（参加者数、一次検診受診者数）やアンケートの項目から、事業の評価に用いる項目を設定する  
事業終了後、評価項目から子宮がん検診未受診者対策事業としての効果を検証する

▷事業を実施して結果が得られる項目

・検診に関する項目



・アンケートに関する項目



### 4-3：評価項目（案）

事業の評価に適した項目を選定する

- 検体提出数（率） 未受診者を検査に繋げる効果について
- ≥CIN2    ≥CIN3    ハイリスク層のがんをどれだけ発見（早期発見）できたか
- 今後の定期健診について 未受診者を定期健診に繋げる効果があったか